

めでいかすとり Médicastre

一般社団法人 鶴岡地区医師会 基本理念

鶴岡地区医師会は、地域住民の健康維持・増進と健やかな長寿社会の実現のために地域に貢献するとともに、医の心を忘れず知識と技術の向上をめざし、不断の研鑽に励みながら日々前進する組織をめざします。



「湿原に映る出羽富士（ドローン映像）」

令和 7 年度 一般社団法人鶴岡地区医師会 第110回 定時総会

日時：令和 7 年 6 月 13 日(金) 19:00～

場所：鶴岡地区医師会館 3 階講堂

1. 開会（堀内議長）

19時00分、令和 7 年度 鶴岡地区医師会第110回 定時総会の開会を宣した。

2. 資格確認（土屋事務局長）

総会員の議決権数165名のうち、出席19名、委任状提出者80名、計99名
総会成立の報告があった。

3. 会長あいさつ（福原会長）

本日はご多用のところ鶴岡地区医師会第110回定時総会にご出席賜り、誠にありがとうございます。令和 2 年からの新型コロナウイルス感染症も 5 年が経過し、ようやく沈静化してきております。しかしながら季節性インフルエンザとの同時流行もあり、救急の現場では多少混乱もあったようです。また、最近では百日咳や伝染性紅斑、水痘や感染性胃腸炎など種々の感染症が頻発しており、その動向については地域全体で注意深く対応していく必要があると思われます。ぜひ積極的に情報発信や情報取得にメーリングリストをご活用ください。

会員の先生方には、平素より様々な医師会事業にご協力を賜り、この場をお借りして厚く感謝申し上げます。健診事業、休日夜間診療所をはじめとする救急医療対応、学校医・産業医・施設の嘱託医、警察検案業務など、様々な依頼が増えておりますが、応じきれない面があります。以前より会員の高齢化が問題になっておりますが、最近では若い先生方のご開業や医師会への入会が増え、また、コロナ禍をきっかけに若い先生方が自主的に集まり連携を深め地域の医療への関わり方を模索されております。このような動きが個人から医師会としての組織的な活動を通して地域の医療を考

えることに結び付いていくことを切に願っています。それと関連して、今年度、会長諮問として、特に増え続ける施設の嘱託医・産業医・警察検案に対応する医師の確保について対応策をお考えいただき、来年度以降に役立てられるよう答申していただくことにしております。若手医師に期待することは大きいですが、現在も現役で精力的に仕事をされておられる先生方にもまだまだお願いすることは多く、その経験を生かしながら医師会活動にご尽力いただきたく改めてお願い申し上げます。

医師会事業に関しては、少子高齢化の影響を想定し厳しい経営状況を予想しておりましたが、多くの事業体で増収となり、医師会全体で数年ぶりに正味財産が前年度より増加しました。これは、各事業所で業務内容を見直し、利用者の確保や診療単価を上げるなどの努力をしたことに加え、業務改善推進担当職を職員の中に新たに設け経費削減に取り組んだことなどが要因と思われます。医師会職員一人ひとりがモチベーションを保ちつつ、より積極的な運営を目指し、住民の皆様から信頼され選ばれる組織を目指す方向に向かっていると感じます。しかしながら、今後の医師会事業経営は厳しいものであることがわかっており、それに対応するべく今後も努力していく所存です。安定した事業運営のためには職員の確保が最重要課題となっております。昨年度、職員の紹介制度を利用し新たに職員の採用もありましたが、さらに職員の確保には全力で取り組んでまいります。昨年度から今年度にかけての大きな変更点は、かねてから懸案事項であった湯田川温泉リハビリテーション病院の医師確保ができたことです。5 月に紹介会社経由で内科の野口

医師を、今年度 4 月には荘内病院副院長でいらした佐藤和彦医師を診療部長として招聘いたしました。このことにより安定した病床稼働が可能となり、増収となっております。また、働き方改革関連で会員の皆様方から当直業務のご協力をいただいていることも併せてご報告・御礼申し上げます。さらに、以前からの要望であった電子カルテシステムの導入が決まり、現在、鶴岡市と協議しながら年度内の稼働に向け職員一丸となり準備中であることも申し添えます。また、訪問入浴事業を今年度 4 月からみずばしょうへ移管することといたしました。職員体制の確保が大きな目的ですが、利用者への温泉利用なども今後視野に入れながら、サービスに努めてまいります。

本日は、これから令和 6 年度の会務報告、公益目的支出計画実施報告、令和 7 年度事業計画、正味財産増減予算書の報告の後、令和 6 年度決算承認の件、令和 7 年度会費賦課（案）承認の件についてご審議いただく予定です。担当理事の説明も簡略化し、事前に配布させていただきました資料をもとになるべくわかりやすい形での説明を心がけております。慎重審議の上、ご承認賜りますようお願いし、会長挨拶とさせていただきます。

4. 議事録署名人選出

議長より石橋学先生、土田兼史先生が指名された。

5. 報告

はじめに、令和 6 年度に亡くなられた武田晶子先生、林順一先生、4 月に亡くなられた武田徹先生に追悼の意を表し、一同黙祷。

令和 6 年度会務報告、公益目的支出計画実施報告書について菅原副会長より報告があった。

令和 6 年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告について木根淵監事より報告があった。

令和 7 年度事業計画、正味財産増減予算書について菅原副会長より報告があった。

6. 議案

第 1 号議案 令和 6 年度 決算承認の件

各会計の事業計画実施報告および収支計算書について菅原副会長、石原副会長、本田理事、中目理事、武田理事、渡邊理事より説明があった。

財務諸表について菅原副会長より説明があった。

議長は、令和 6 年度 決算承認の件について諮ったところ、賛成多数により承認された。

監査報告書について真島監事より報告があった。

第 2 号議案 令和 7 年度 会費賦課（案）承認の件

第 2 号議案 令和 7 年度 会費賦課（案）について三浦理事より説明があった。

議長は、令和 7 年度 会費賦課（案）承認の件について諮ったところ、賛成多数により承認された。

7. 協議

8. 閉会（堀内議長）

20時05分、令和 7 年度 鶴岡地区医師会 第110回 定時総会の閉会を宣した。

観桜会、病・医院永年勤続者表彰式

日時：令和 7 年 6 月 20 日(金) 19:00～
場所：ベルナール鶴岡

【永年勤続者表彰受賞者の皆様】21名

岡 田 医 院	山科 佐智子 さん
岡 田 医 院	高城 千春 さん
岡 田 医 院	前田 直美 さん
さくまクリニック	渡部 恵里子 さん
さくまクリニック	中野 千晴 さん
石橋内科胃腸科医院	菅原 多希子 さん
いずみまちクリニック	藤田 美香 さん
中村整形外科医院	松田 邦子 さん
中村整形外科医院	加藤 真貴子 さん
中村整形外科医院	佐藤 晃 さん
中村整形外科医院	濱口 洋介 さん

中村整形外科医院	加藤 絵理 さん
鶴岡地区医師会	五十嵐 亜希 さん
鶴岡地区医師会	加賀山恵美子 さん
鶴岡地区医師会	加藤 順司 さん
鶴岡地区医師会	木村 陽子 さん
鶴岡地区医師会	石栗 美香 さん
鶴岡地区医師会	高橋 巧 さん
鶴岡地区医師会	佐藤 るみ さん
鶴岡地区医師会	廣瀬 志布 さん
鶴岡地区医師会	菅原 由美 さん

去る 6 月 20 日、観桜会、病医院永年勤続者表彰式が、ベルナール鶴岡にて開催されました。ご来賓 3 名、会員 26 名、永年勤続者表彰受賞者 16 名、職員等 19 名の総勢 64 名が参加しました。

菅原副会長の司会進行のもと、はじめに福原会長のごあいさつがあり、6 月 13 日に行われた第 110 回定時総会が無事終了した旨の報告がありました。

病・医院永年勤続者表彰では、永年のご功績を称え 16 名の方（他に欠席者 5 名）に表彰状と記念品が贈呈され、受賞者を代表して、岡田医院の山科佐智子様が謝辞を述べられました。三井卓弥副議長の乾杯のご発声で祝宴に入り、おいしい料理とおいしい飲み物を同僚や久しぶりにお会いできた方々と歓談しながら楽しみました。続いて、新たに当会会員になられた先生方のご紹介があり、ご出席された滝沢眼科 滝沢賢先生、荘内病院 山木哲先生、同 坂本純先生、同 島田哲也先生より自己紹介を交えたごあいさつを賜りました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、宴もたけなわ、石原副会長より閉会のごあいさつと一丁締めで閉会となりました。

湯田川温泉リハビリテーション病院 医事課 課長 遠藤 睦

新入会員



滝沢 賢 先生



山木 哲 先生



坂本 純 先生



島田 哲也 先生

謝 辞

この度は、永年勤続の表彰を賜り誠にありがとうございます。

私は1996年に医療補助員として入職し、前職とは全く違う業種だったこともあり右往左往しながら働いていました。その一年後に、穆先生からの導きもあり准看護学校に通わせて頂き、頑張って資格を取った頃を懐かしく思い出します。

看護師としては経験が無い中、自分の安易な言動で患者さんや先生にご迷惑をお掛けし、幾度と戸惑い、自分は看護師には向いていないのではと涙した事もありました。様々な思いと共に多くの患者さんとの出会いや別れの中から一步ずつ前に進むことで成長してくることが出来ました。

この29年間、岡田医院で業務を続ける事が出来たのは、家族の協力はもちろんですが、穆先生をはじめ、恒人先生、順先生のご指導ご鞭撻を賜ったこと、5年あとから共に働いている看護師の前田さん、高城さん、並びに諸先輩、同僚の皆さん方のお力添えがあったからこそだと心から感謝申し上げます。

私自身、体力、記憶力の衰えを日に日に感じていますが、あと数年、残りの看護師人生を有意義に過ごせるように今後も努めて参りますので宜しくお願い致します。

改めまして本日は、ご多忙の中、貴重な機会を設けて頂きまして表彰者を代表しましてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

医療法人 岡田医院 山科 佐智子



鶴岡地区医師会勉強会抄録

日時：令和 7 年 6 月 26 日(木) 19:00～

場所：鶴岡地区医師会館 3 階講堂 / オンライン開催



『多職種連携と AI で地域医療を強化する —呼吸器疾患診療と医療機関の運営—』

日本赤十字社医療センター
病院長補佐・呼吸器内科部長

出雲 雄大 先生

呼吸器疾患の診療は、医師、看護師、理学療法士、薬剤師、事務など多職種が協力することで、患者さんの QOL（生活の質）を向上させることができます。特に、肺がんや間質性肺炎などの難病に対する診療が重要です。肺がん診療は、近年大きな進展を遂げています。特に、EGFR 陽性肺がんの治療においては、新薬の登場が注目されています。例えば、ライブリバン ト＋ラズクルーズという新しい治療法が開発され、無増悪生存期間が 2 年近く延びることが期待されています。また、免疫チェックポイント阻害剤や分子標的薬も、従来の化学療法とは異なるアプローチでがんを抑制する新しい治療法として注目されています。

間質性肺炎は難病であり、専門的な診断と治療が必要です。当院では 2024 年に間質性肺炎センターを新規に設立し、多職種が連携し医師、看護師、理学療法士、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなどが協力し、患者さんの治療導入や日常生活の維持、生活の質向上を目指しており、北海道から沖縄まで日本全国から多くの患者さんに受診していただいております。

外来診療では、咳の患者さんが多く、咳の鑑別診断とその治療が非常に重要です。咳は、単なる風邪やアレルギーから、肺がんや結核などの重篤な疾患の初期症状として現れることがあります。したがって、咳の原因を正確に診断し、適切な治療を提供することが求められます。特に、慢性咳嗽の場合、喘息や COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの可能性を考慮し、必要に応じてスパイロメトリーなどの検査を実施し、個別化された治療計画を立てることが重要です。

2020 年以降、COVID-19 の世界的な蔓延に伴

い、多くの医療機関が新型コロナウイルス感染症の診療に積極的に関与しました。特に、当院を含め呼吸器疾患の専門家は、重症患者さんに対する酸素療法や人工呼吸管理の指導を行い、多くの命を救うために尽力しました。また、ワクチン接種や PCR 検査の実施にも貢献し、地域社会の安心を提供しました。COVID-19 の経験を通じて、地域医療の重要性が再認識され、多職種が一体となって地域社会に貢献することが求められています。

地域医療の強化には、多職種連携が重要です。特に地方病院では、医療職員不足が課題となっていますが、柔軟な勤務形態や地域社会との連携を通じて、職場の魅力を高めることが求められています。また、AI を活用した患者モニタリングシステムや情報共有ツールを導入することで、地域医療の効率性と質を向上させることが可能です。AI を用いた医療画像解析により、肺がんや特発性肺線維症などの難病を高精度で診断することが可能になり、地域医療の包括的なサポートを提供することができます。

呼吸器疾患の診療は、多職種連携と最新の医療技術を活用することで、患者さんの QOL を向上させることができます。特に専門的なセンターの設立や AI の活用が重要であり、地域医療の強化を通じて患者さんの生活の質を向上させることが求められています。医師、看護師、事務職、薬剤師など多職種が一体となって、病院・診療所などの経営にも興味・関心を持ち地域医療を強化することが重要です。

これからの呼吸器診療はどうなるのか、また厳しい医療機関の経営状況などについて私見を述べ、今後の方向性を皆様とご議論できればと考えております。

マイペット&マイホビー

私への絵手紙

わかな内科医院 松浦 優

この世に生をうけてより幾星霜すごしたでしょうか。そして今は人生最終章のくだり坂をひたすら走り続けているのでしょうか。

昨年八月誕生日以来、私の生きざまはこれでいいのか？諸々の思いが募り抑うつ状態に至っていました。そして脳裏にうかんだのは「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」方丈記の序文でした。

時が経つのは逆らえず、悲哀な結果でも受け入れて人さまざまに生き続けること。

その頃山形医科美術展公募のお知らせをみて、我が人生の来し方をふり返ってみると小学四年より中学三年まで松平穆堂書家の手ほどきをうけていたこと、墨絵、俳画など十数年学んでいたことを幸運にも思い出しました。四季折々の自然や風景、身近な花木、樹木などほんの少しの時間で墨彩で表現することで目を楽しませ、情感をたっぷり味わうことができるのです。薄墨、中墨でしなやかに線描きし、彩色はしっとりとした顔彩を使い濃淡で風合いを出すと上手、下手というより日頃の疲れ、憂いを解きほぐし心を和ませ安らぎをもたらしてくれる優しさがあります。

今回出展させていただいた4点（小品）は私自身への絵手紙なのです。

あじさいはとくに情感を出しやすく、墨絵で表現すると一層風合いに華やかさを増してくれます。

百合はクレパスで香りたかく強さを表現しています。

エノコロ草は十六年間共に過ごした今は亡き愛猫と遊んだネコの額のような庭での思い出を表現しました。

椿は清々しい侘助です。

絵がらを描いていくうちにめまぐるしく移り変りするストレスの多い現代から離れ、純粹な気持ちで楽しむ心をたくしたつもりです。

今後は自然体でゆるやかに、心豊に過ごして参りたいと願っています。



「清純な心」
(水墨)



「心にあふれる喜びと安らぎ2」
(クレパス)



「幼き日の友達」
(顔彩)



「心にあふれる喜びと安らぎ1」
(クレパス)

新入会員紹介

①氏名 ②生まれた所・育った所 ③勤務先・診療科目
④出身大学 ⑤趣味・特技 ⑥鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言

～令和 7 年 6 月 1 日入会～

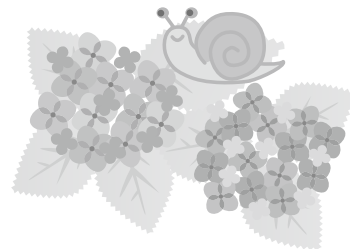
- ① 坂 本 純
② 新潟県燕市
③ 眼科、産業医
④ 昭和医科大学
⑤ 山野草の観察、温泉、
ウォーキング、食べる事
⑥ 親切、丁寧な仕事を心がけてい
きたいです。よろしくお願い致し
ます。



- ① 島 田 哲 也
② 新潟県新潟市
③ 鶴岡市立荘内病院・外科
④ 高知大学
⑤ ロードバイク、サッカー
⑥ 鶴岡の医療に少しでも貢献でき
ればと思いますので、よろしくお
願いします。



- ① 内 山 慎
② 新潟県柏崎市
③ 鶴岡市立荘内病院・内科
④ 獨協医科大学
⑤ ゲーム
⑥ 新潟県より参りました。1 年
間ですが山形県の医療に貢献でき
るように努めさせていただきます。
よろしくお願い致します。



～令和 7 年 7 月 1 日入会～



- ① 小 林 祐太郎
② 新潟県新潟市
③ 鶴岡市立荘内病院・小児科
④ 秋田大学
⑤ 剣道
⑥ ご指導ご鞭撻のほどよろしくお
願いいたします。



- ① 神 保 瑞 希
② 山形市
③ 鶴岡市立荘内病院・小児科
④ 山形大学
⑤ ドライブ、お酒
⑥ 鶴岡の小児医療に少しでも貢献
できるよう精進します。よろしく
お願いいたします。



- ① 東海林 莞央里
② 新潟県新潟市
③ 鶴岡市立荘内病院・
外科／小児外科
④ 東北医科薬科大学
⑤ 旅行、カラオケ
⑥ 一生懸命頑張ります。よろしく
お願い致します。



医師会ニューフェイス

～令和 7 年 6 月 1 日採用～

①氏名 ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと



- ① 永 田 光
② 荘内地区健康管理センター
健診課 診療放射線技師
③ サッカー、ゲーム
④ 一日でも早く職場に慣れ、皆さまのお役に立てるよう頑張ります。
よろしくお願い致します。

故 真島 吉也 先生 心よりお悔やみ申し上げます

令和 7 年 6 月 20 日ご逝去 享年 91 歳

5 月・6 月 行事表

5 月 12 日	整形外科症例検討会	6 月 2 日	湯田川温泉リハビリテーション病院 経営委員会
13 日	庄内南部地域連携パス推進協議会運営 委員会	4 日	食支援フォーラム第 2 回準備会議
14 日	県医第 2 回常任理事会	〃	鶴岡地区休日夜間診療協議会理事会
〃	緩和ケア症例検討会	5 日	学術広報委員会
19 日	用度委員会	〃	山形県鶴岡地区便秘治療セミナー
〃	総務委員会	7 日	県医第 153 回定例代議員会
20 日	庄内南部地域連携パス推進協議会全体会	9 日	整形外科症例検討会
21 日	決算監査・臨時理事会	10 日	総会リハーサル
22 日	第 1 回健診システム選定委員会	11 日	三川町高齢者虐待防止連絡協議会
26 日	定例理事会	〃	地域感染対策合同カンファレンス
27 日	南庄内緩和ケア推進協議会総会	〃	県医第 3 回常任理事会
28 日	県医師信用組合理事会	〃	緩和ケア症例検討会
〃	県医第 2 回全理事会	13 日	定時総会
〃	三川町障害支援区分認定審査会	14 日	日本在宅医療連合学会大会（～15 日）
		〃	県医協同組合総代会
		〃	県医師信用組合総代会
		〃	医師連盟執行委員会
		16 日	地域一体型 NST「南庄内・たべるを 支援し隊」定例会議
		〃	職員採用面接試験
		18 日	庄内 AMR 等対策ネットワーク コア メンバー会議
		〃	第 2 回健診システム選定委員会
		19 日	職員採用面接試験
		20 日	観桜会、病・医院永年勤続者表彰式
		23 日	用度委員会
		〃	定例理事会
		24 日	鶴岡地区休日夜間診療協議会定時総 会・理事会
		〃	庄内病院地域医療連携推進協議会
		25 日	県医師信用組合理事会
		〃	県医第 3 回全理事会
		〃	県医健康スポーツ講演会
		26 日	医師会勉強会
		30 日	庄内医療情報ネットワーク協議会



令和7年度 第1回臨時理事会

(令和7年5月21日)

出席者	会 長	福原晶子	
	副 会 長	石原 良	菅原真樹
	理 事	武田憲夫	本田 学 吉田 宏 岡田恒人 鈴木 聡
		須貝孝一	三浦道治 渡邊秀平 中日哲平
	監 事	阿部周市	木根淵智子 真島英太
	議 長	堀内隆三	三井卓弥
	事 務 局	土屋清光	五十嵐亜希

報 告

- (1) 決算監査報告について（木根淵監事）

協 議

- (1) 令和6年度決算について（福原会長）
 (2) 定時総会議案書について（福原会長）

令和7年度 第2回定例理事会

(令和7年5月26日)

出席者	会 長	福原晶子	
	副 会 長	石原 良	菅原真樹
	理 事	武田憲夫	三原一郎 蘆野吉和 本田 学 吉田 宏
		岡田恒人	鈴木 聡 須貝孝一 三浦道治 渡邊秀平
		中日哲平	
	監 事	阿部周市	真島英太
	議 長	堀内隆三	三井卓弥
	事 務 局	土屋清光	五十嵐亜希 井上祐司 五十嵐美喜

報 告

- (1) 県医第2回常任理事会について（鈴木理事）
 5月14日(水) 15:30 県医師会館／オンライン開催
 (2) 会長諮問について（福原会長）
 (3) 病院勤務医と医師会会員との懇談会の開催および話題提供について（鈴木理事）
 7月18日(金) 19:00 東京第一ホテル鶴岡
 (4) 令和7年4月期事業会計収入実績について（参考）
 (5) 職員の退職について（三浦理事）
 (6) その他
 ・債券の購入について（菅原副会長）

協 議

- (1) 会員の入会について（菅原副会長）
 6月1日付 B会員 坂本 純（さかもと じゅん）先生 自宅会員（6月末まで荘内病院）
 6月1日付 B会員 島田 哲也（しまだ てつや）先生（荘内病院）
 6月1日付 B会員 内山 慎（うちやま まこと）先生（荘内病院）
 (2) 総務委員会について（菅原副会長）
 5月19日(月) 19:00 会議室
 (3) 用度委員会について（三浦理事）
 5月19日(月) 18:30 小会議室
 (4) 第1回健診システム選定委員会について（石原副会長）
 5月22日(木) 19:00 健康管理センター会議室
 (5) 知事と県医師会との懇談会における協議事項について（福原会長）
 (6) 理事の推薦依頼について（事務局）
 (7) 委員の推薦依頼について（事務局）

- (8) 産業医の紹介依頼について（事務局）
 (9) 医師の派遣依頼について（事務局）

令和 7 年度 第 3 回 定例 理事会

（令和 7 年 6 月 23 日）

出席者 会 長：福原晶子
 副 会 長：石原 良 菅原真樹
 理 事：武田憲夫 三原一郎 蘆野吉和 本田 学 吉田 宏 岡田恒人
 鈴木 聡 須貝孝一 三浦道治 渡邊秀平 中目哲平
 監 事：阿部周市
 議 長：三井卓弥
 事 務 局：土屋清光 五十嵐亜希 高橋 巧 橘慎太郎

報 告

- (1) 会員の訃報について（福原会長）
真島 吉也 先生 満90歳 6月20日逝去
- (2) 県医第 2 回全理事会について（阿部監事）
5月28日(水) 15:30 県医師会館／オンライン開催
- (3) 県医第 3 回常任理事会について（鈴木理事）
6月11日(水) 15:30 県医師会館／オンライン開催
- (4) 湯田川温泉リハビリテーション病院経営委員会について（武田理事）
6月2日(月) 19:00 講堂
- (5) 鶴岡地区休日夜間診療協議会理事会について（菅原副会長）
6月4日(水) 19:00 鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる
- (6) 庄内AMR等対策ネットワーク コアメンバー会議について（岡田理事）
6月18日(水) 18:00 オンライン開催
- (7) 職員の退職について（三浦理事）
- (8) 令和 7 年 5 月期事業会計収入実績について（参考）
- (9) その他
 - ・観桜会、病・医院永年勤続者表彰式について（福原会長）
6月20日(金) 19:00 ベルナール鶴岡
 - ・産業医の紹介依頼について（事務局）

協 議

- (1) 会員の入会について（菅原副会長）
7月1日付 B会員 小林 祐太郎（こばやし ゆうたろう）先生（荘内病院）
7月1日付 B会員 神保 瑞希（じんぼ みずき）先生（荘内病院）
7月1日付 B会員 東海林 莞央里（しょうじ いおり）先生（荘内病院）
- (2) 会費減免申請について（菅原副会長）
- (3) 関係諸団体役員名簿について（福原会長）
- (4) 鶴岡地区三師会の開催および話題提供について（福原会長）
9月19日(金) 19:00 グランドエル・サン
- (5) 第 2 回健診システム選定委員会について（石原副会長）
6月18日(水) 19:00 健康管理センター会議室
- (6) 職員の採用および募集人数の変更について（三浦理事）
 - ・職員採用面接試験
6月16日(月) 18:30 会議室
6月19日(木) 18:30 会議室
 - ・募集人数の変更
- (7) 用度委員会および用度委員会小委員会について（三浦理事）
6月19日(木) 15:00 会議室（小委員会）
6月23日(月) 18:45 会議室
- (8) 認知症疾患医療連携協議会委員の推薦について（事務局）
- (9) 固定資産の処分について（事務局）

表 紙

「 湿原に映る出羽富士
(ドローン映像)」

三原 一郎

昨年の 5 月の連休にドローンで撮影した映像です。秋田県側に位置する冬師湿原は、逆さ鳥海山が望める絶景ポイントとして知られています。この日は、快晴にも恵まれ、青い湖面に映る鳥海山に息を呑む思いでした。

ドローン動画は以下の QR コードからお楽しみください。



目 次

・表 紙	1
・第 110 回定時総会議事録	2
・観桜会、病・医院永年勤続者表彰式	4
・鶴岡地区医師会勉強会抄録	6
・マイペット & マイホビー	7
・新入会員紹介	8
・医師会ニューフェイス	8
・5・6 月行事表	9
・理事会報告	10
・編集後記	12

編 集 後 記

今年の夏も、地球温暖化の影響か、かつてない猛暑が予想されます。全国各地で「異常」が日常になりつつある中、私たち医療従事者も熱中症や気候に関連する疾患への対応に追われる日々です。

社会全体を見渡せば、物価の上昇や人手不足、そして医療現場における働き方改革の推進など、私たちを取り巻く環境はますます複雑さを増しています。診療報酬制度や医療提供体制の変化に対応しながら、日々の診療を継続することは決して容易ではありません。

加えて、生成 AI をはじめとする新たな技術が急速に浸透し、医療の現場においてもその影響を感じるようになりました。カルテ記録の支援や診療情報の整理、学術情報の収集など、利便性は確かに増えています。しかしその一方で、「人の手のぬくもり」や「顔の見える対話」の大切さを改めて見直す声も、現場では多く聞かれるようになりました。効率化が進むほど、医療における人間らしさが一層重要になるのかもしれません。

こうした時代だからこそ、各地域での地道な取り組みや、現場が抱える課題に向き合った実践的な発表が、数多く共有されるようになっていきます。一人ひとりの努力が、地域全体の医療力を支えていることを改めて実感します。混沌とした時代だからこそ、確かなものを見極め、支え合う姿勢が求められています。今後も本誌がその一助となることを願いつつ、暑さ厳しき折、皆さまのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

(菅原 真樹)

編集委員：菅原真樹・吉田 宏・阿部周市・三井卓弥・真島英太・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町 1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jpホームページにも掲載しております 鶴岡地区医師会 検索 URL <https://www.tsuruoka-med.jp>

印刷所：富士印刷株式会社 鶴岡市美咲町 27-1 TEL 22-0936 (代)